

〇一五七を防ぐ

昨年、過去に例を見ない規

**加熱しない食品はよく汚染**「いつ、どこで食中毒が発生してもおかしくない」——〇一五七の汚染は、多くの専門家がそう警告するほどの全国的な広がりをみせています。

「……」

○ 157は感染後、通常四～八  
日の潜伏期間を経て症状を現す。  
健康な大人は感染しても症状がな  
かつたり、軽い下痢だけというう  
ケースがほとんどだが、子どもや  
高齢者の場合、重症に至ること

ず危険な状態を招くことがある。

た病原大腸菌O-157。これまでにすべての都道府県で発生し、9,700人に上る感染者と13人の死亡者が報告されています（平成9年5月末現在）。給食センターや飲食店などで厳しい予防体制が講じられる一方、一般家庭での食中毒発生が田立つてきています。

注意すべき食中毒菌は、O<sub>1</sub>57だけではありません。昨年最も多く発生した食中毒は、サルモネラ菌（肉・魚・卵が原因食品、加熱に弱い）によるもので、報告されているだけでも全国で千六百三、十人の食中毒患者が出ています。

気温や湿度が高く、食中毒菌が繁殖しやすいこの時期、食品の保存や調理の方法、台所や調理器具の衛生管理には十分注意する必要があります。

食品を取り扱うときは、その後必ず手を洗いましょう。

大腸菌は家畜や健康な人の腸の中にもいる1～2ミクロンの細菌。無害のものが多いが、人に下痢などを起こさせる病原大腸菌と呼ばれる種類がある。O157は157番目に発見された病原大腸菌（現在173種類）の意味。腸菌（現在173種類）の意味。家畜の糞便から見つかることが多いためでも感染する可能性がある。

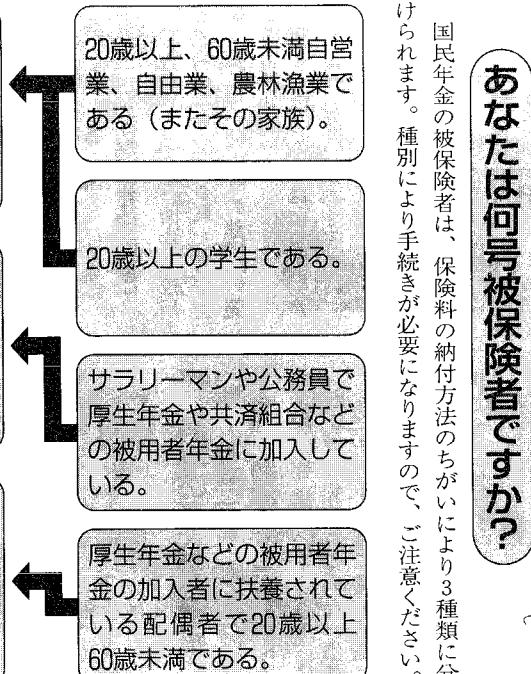
-

長いべん手を持つ0157

あなたは**第1号被保険者**です。  
加入の手続きを行い、保険料はあなた自身で納めなければなりません。  
納め忘れのないようにご注意ください。

あなたは**第2号被保険者**です。  
加入している厚生年金などの被用者  
年金制度で国民年金加入手続きは行  
われます。保険料は個別に納付する  
必要はありません。

あなたは**第3号被保険者**です。  
保険料の個人負担はありませんが、  
市町村の国民年金係に「**第3号被保  
険者該当届**」を提出し資格を得てく  
ださい。



国民年金にはみんなが加入します

国民年金にはみんなが加入し、老後の生活や  
万一のときの経済的な支え合いを目的としてい  
ます。そのため 日本国内に住所のある20歳以  
上、60歳未満のすべての人は国民年金に加入  
し、保険料を納めなければなりません。

**あなたは何号被保険者ですか？**

年金Q&A

から繰上げ支給を希望するところ、支給率が58%です。支給額は年額45万5千6百円になります。

なお、66歳以降から受け始めることができる「繰下げ支給」の制度もあります。

この場合は、年金額が割増されて生涯支給されることになります。

慢性関節リウマチの人  
↓この病気になるとカルシウムの吸収力が落ちる。また、運動不足になりがちなので、骨が弱りやすくなる。  
**(3)なりやすい生活スタイル**  
カルシウムの多い食事をしていない人  
↓骨を強くするには、食物からカルシウムをたっぷりとれる必  
要がある。栄養バランスを考え  
くなる。

筋やストレスなども大抵シウノの吸収を妨げる一因に。これがサイン

家庭の健康

(1) ないにやせし性格・体型  
やせすぎの人  
↓骨への圧迫が少ないため、骨  
が鍛えられにくい。

牛乳・脂肪で下痢しやすい人  
↓カルシウム・ビタミンDの摂  
取不足となる

無月経症・生理不順の人  
↓骨を守る女性ホルモンが十分  
に分泌されていないことがある  
ので、注意したい。

(2) なりやすい人  
胃を切った人  
↓胃酸の働きが弱くなっている  
ので、カルシウムの吸收が悪い

肝臓病・腎臓病人  
↓ビタミンDがカルシウムの吸  
収を促進するためには、肝臓や  
腎臓で活性型ビタミンDに変身  
しなければならない。そのため  
それらの臓器が弱っているとビ  
タミンDが十分に活性化しない  
ので、カルシウムの吸収率が悪  
くなる。

慢性関節リウマチの人  
↓この病気になるとカルシウム  
の吸収力が落ちる。また、運動  
不足になりがちなので、骨が弱  
りやすくなる。

(3) なりやすい生活スタイル  
カルシウムの多い食事をしてい  
ない人  
↓骨を強くするには、食物か  
らカルシウムをたっぷりとる必  
要がある。栄養バランスを考え

偏食がちな人  
↓重要な栄養素である塩分やた  
んぱく質・リン・食物繊維は多  
すぎるとカルシウムを体外に排  
泄してしまうという難点があ  
る。偏食せずバランスを考えて  
食事をすること。

身体を動かすことが少ない人  
↓骨は運動によつて鍛えられ  
る。ふだん身体をうごかす機会  
の少ない人は、できるだけ歩く  
ようにしよう。

日光に当たる機会の少ない人  
↓適度に日光に当たらないとカ  
ルシウムの吸収を促進する活  
型ビタミンDが体内で生成され  
ない。

飲酒・喫煙の習慣がある人  
↓アルコールやたばこ、また過  
労やストレスなどもカルシウム  
の吸収を妨げる一因に。  
これがサイン

骨粗しょう症の危険信号を見逃  
すな  
女性は閉経期を過ぎたら用心  
を。次の症状には要注意

- ・身長が低くなった
- ・背中が丸くなった
- ・物を持ち上げたり、からだを  
ひねつただけで、腰や背中に激  
痛が走る。
- ・倒れただけで、手足の長い骨  
の端が折れた。

◎事業日程

日	曜	事業名	対象	会場
28	26	20	6	5
木	火	水	水	火
乳児健診 H 9年4月1日～5月31日生まれ H 8年10月1日～11月30日生まれ	定例健康相談会 午後1時30分から	(後遺症者の集い) 午前9時30分から	機能訓練 午前10時～12時30分	献血 受付 午後1時30分～3時30分
セントラル 保健福祉祉 センターハ	一般住民	脳卒中及びその他後遺症者	セントラル 保健福祉祉 センターハ	保健福祉祉 セントラル

## 保健福祉だより

8月